

## パワフルAOMORI！創造塾 講座第4回

# 「センスが光る！チラシデザイン講座」

平成27年8月22日(土) 青森県総合社会教育センター 参加者48名

元気な青森を創造する人財育成事業「パワフルAOMORI！創造塾」講座第4回は、「センスが光る！チラシデザイン講座」というテーマで、片山尊奈氏（青森県立美術館 美術企画課 教育普及担当）をお招きし実施しました。

### 講義「チラシ制作の基本・ポイント」

講義では、チラシ制作の流れやポイントについて、詳細にお話しして頂きました。

#### ①原稿作り

- ・入りたい情報（文字・画像）を書き出してみる。
- ・情報の量と質を意識し、取捨選択・校正をする。
- ・手書き、またはWord等で原稿を作成する。

#### ②デザインの方向性を決める

- ・企画の内容に応じて、デザインのテイスト（雰囲気）を決める。
- ・原稿の量に応じて、判型・折りの有無を決める
- ・テイストと予算に応じて、紙の種類・厚み・印刷方法等を決める。

#### ③レイアウト

- ・ガイドラインを引く。
- ・ラフスケッチを描いて大まかな配置を決める。
- ・文字情報を整える（書体・サイズ・行間など）。
- ・キーカラー、ベースカラー、アクセントカラーを選び、配色を決める。
- ・レイアウトを完成させる。

#### ④印刷・加工

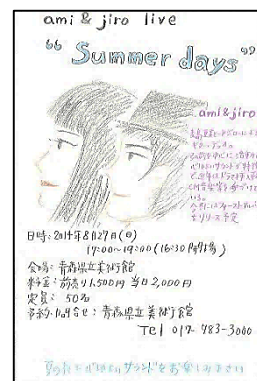
- ・印刷部数の目安…定員×33.3（3分の100）
- ・配布時期…開催日の1ヶ月前～1ヶ月前



### 演習「イベントチラシをデザインしてみよう」

演習では、あらかじめ設定した3つの原稿の中から1つ選択し、デザインの方向性を決め、実際に手書きで作成していきました。参加者は、講義で学んだ配色やレイアウト等を活かしながら、熱心に作成していました。

最後に、できあがったチラシを数名に発表していただき、デザインのポイント等をお聞きしました。同じ原稿でも、作り手によって、色のテーマや強調したい部分の違い、それぞれがデザインの方向性をしっかり決めて作成しているところがすばらしいと感じました。講師からも講評をいただき、大変有意義な時間となりました。



(作品例)

### 講師紹介

片山 尊奈 氏（青森県立美術館 美術企画課）

首都大学東京大学院システムデザイン研究科を修了。青森県立美術館非常勤嘱託員。エドゥケーターとして教育普及事業に携わりとともに、美術館におけるVI（ビジュアル・アイデンティティ）管理や、展覧会のポスター・イベントのチラシなどのデザイン制作を担当している。



### 参加者の声

「デザインをする上でのポイントをわかりやすく説明していただき、非常に参考になりました。」

「仕事でチラシづくりをすることが多いので、とても参考になりました。特に配色や文字の大きさに苦戦することが多いので、今日の学びを参考にしたいと思います。」

「講義を聞いて自己流だった制作の仕方が整理できた。」